

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012 年 11 月 25 日

派遣者氏名（専門分野）	安藤（宮脇） 麻貴 （ フランス文学 ）
-------------	----------------------

派遣期間	2012 年 8 月 30 日 ～ 2012 年 10 月 29 日
------	------------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
フランス	エクサンプロヴァ ンス パリ	アルベール・カミュ資料センター フランス国立図書館（リシュリユー館、ミッテラン館）

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

◇アルベール・カミュ資料センター

このセンターに保管されている資料を参照するには、センターの責任者を介して、カミュの娘の許可を得なければならない。そのため、責任者に宛てて、閲覧許可の申請書を送付してもらうよう依頼する。責任者の連絡先は、センターのサイトに記載されており、メールにて送付してもらうことが可能である。その申請書に、研究テーマの簡潔な説明、及び閲覧したい資料の作品名と整理番号（cote）を記載する。整理番号は、2012 年夏より、センターのサイトに一覧表が PDF ファイルで記載されている。閲覧許可申請書に記入したら、センターの責任者に送り（メールにて可）、特に問題がないと判断されれば、責任者がカミュの娘にそれを転送し、2 週間ほどで彼女の許可を得ることができる（許可を得るのに要する時間は、先方の都合により、多少前後することは考えられる）。

また、閲覧許可申請書を送付する際に、いつ頃それらの資料を参照したいかを明確にして、センターの責任者に伝える必要がある。他の研究者と同じ時期に同じ資料を参照することは難しく、センターでは様々な展示の企画を行うので、その展示と重なる資料を参照することはできないからである。

なお、センターは毎年 8 月にほぼ一カ月閉館することを記しておく。

現地に到着したら、センターの責任者との簡単な面談があり、資料の参照の仕方の説明等を受ける。それが終わると、同じ敷地内のエクサンプロヴァンス市立図書館（メジャーヌ図書館）でカードを作成し（パスポートと現地の連絡先が必要）、その手続きが終われば、すぐに資料を参照できる。

資料は、カミュ資料センター内ではなく、市立図書館内の貴重本閲覧室で参照する。閲覧室の司書から、資料を 10 枚ずつ受け取って参照する。その 10 枚は、自分の参照したい箇所のみでもよい。参照したい資料が多岐にわたっている場合、閲覧室には限られた量しか運ばれてこないのので、次の資料を参照したい場合には、カミュ資料センターの責任者（不在の場合は助手）にその旨を伝える。カミュ資料センターの開館時間は午後 2 時から 6 時までだが、資料そのものは、貴重本閲覧室が開いている午前 10 時から午後 7 時まで閲覧することができる。

◇フランス国立図書館

報告者は、リシュリユー館とミッテラン館にて調査を行ったが、ここでは、主に利用したリシュリユー館のスペクタクル芸術部門について記す。

利用者証の発行は、パスポート、指導教官のサイン、あらかじめ国立図書館の司書に問い合わせていた資料の情報（メールのコピー）を持参して、スムーズに運んだ。しかし、この時点で、問い合わせていた資料

番号に誤りがあることが判明する。リシュリユー館は現在、大規模な工事中であり、問題の文献は、アースナル館から昨今リシュリユーに移されたという経緯があるため、そのような事態が生じたのだろう。渡仏の前に、担当者に確認の問い合わせをしていますが、このようなことが起こるので、リシュリユー館の工事中は、少し注意しておく方がよいと思う。

そこで、以下、資料番号が参照したい資料の名前と一致していない場合（文献未整理等の事情により、資料番号が明確でない場合）のリサーチ方法を記しておく。スペクタクル芸術部門の閲覧室にいる司書に事情を説明し、参照したい資料を整理した担当者の連絡先を教えてもらう。早急にその担当者とメールか電話で連絡を取る。対処の仕方は資料の担当者によって異なるはずだが、報告者の場合は、閲覧したい日にちを知らせれば、早急に準備しておくとの回答を得た。実際、通常は所定の用紙に記入して資料を請求すべきところ、その必要はなく、指定した日にちに、すでに資料一式の入った箱を手にする事ができた。また、何よりも、個人的に資料の担当者とコンタクトをとっていたことが功を奏して、閲覧を希望していた資料以外に、それに関連する他の資料もあわせて準備してくれていた。

資料の入った箱をスペクタクル部門の受付で受け取ったら、閲覧室のカウンターまで持参する。資料は、基本的に一つのファイルごとに、決められた座席で参照できる。ループは司書に言えば貸してもらえる。パソコン等に使う電源は各席にある。翌日も同じ資料を参照したいときには所定の用紙に記入する。

調査期間中、資料について不明な点、補足の情報が欲しい場合、個人的に連絡を取った、資料の担当者に尋ねれば、常に親切な回答を得た。